

昨年11・12月の 主な行事から

焼き芋大会

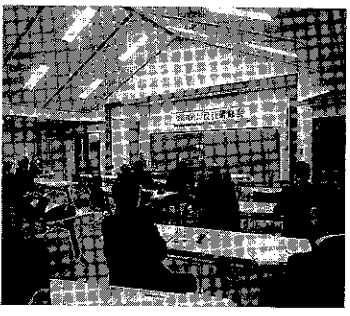
11月5日、栗田町内会などが恒例の焼き芋大会を日吉大神社境内で開きました。写真。今年で13回目。ほかに共催は、福祉推進委員会、民生児童委員、日赤奉仕団、保健補導員、男女共同参画推進員、育成会。住民自治協議会同士の交流で栗田と縁のある中条村の安納芋をスタッフが焼き芋にして住民に配りました。

配布開始の午前10時前には80人ほどが列を作り、300個用意した焼き芋をスタッフたちが参加者に手渡しました。



役員研修会

栗田町内会は11月13日、栗田ふれあい会館で役員研修会を開き、関係者約40人が出席しました。写真。地域防災の見地から、長野市総務部危機管理防災課の吉原正夫・防災対策官が講演。



吉原氏は1949（昭和24）年に発生した裾花川の堤防決壊・氾濫のケースなどを挙げ、避難の仕方や、災害に対して各家庭で何をどう準備するかを決めておく。マイ・タイムラインの大切さについて語りました。

吉原氏の講演要旨はあらためて紹介します。

栗田公民館文化祭

11月20日、「第49回栗田公民館文化祭」をふれあい会館にて開催致しました。コロナ禍ということもあり、感染防止対策を行った上での開催でした。

発表は「芹田木遣り会」の皆様による木遣りから賑やかにスタートし、「花房流志寿香教室」をご指導下さる先生・社中の皆さん、及び「あじさい」による日本舞踊、フラダンスサークル「レイアロハ」による発表、また今回初登場の「ルス・アルテ」によるギター演奏がありました。会場は盛り上がるともに、いずれの発表も皆さまを魅了し、感動を与えるものであり、町内の皆さまには大変楽しんでいただけました。

コロナ禍の中、このような発表会を開催できたのは皆様のおかげです。発表

者の皆様、ご来場・ご協力いただいた皆様、大変ありがとうございました。心から感謝申し上げます。

文化祭の開催風景（写真グラフィ）は、栗田町内会のホームページ下の欄外アドレスでご覧いただけます。

しめなわ講習会

栗田公民館は昨年12月4日、恒例のしめ縄づくり講習会をふれあい会館2階大広間で開きました。写真。

令和2年は新型コロナウイルス感染症対策で開催を見送りましたが、今回は対策を取った上で、前年に続いての開催となりました。

同講習会は、伝統行事や技術



術を次世代に継承することを目的に実施され、今回も子供たちのほか育成会のお母さん、お父さん、町内会関係者など28名の方々にご参加いただきました。

冒頭、講師の西3組の小林勝彦さんから、しめ縄の由来等についての説明がありました。その後、小林さんから正月飾りの作り方を丁寧に指導していただきました。今回は「しゃもじ」の作り方が追加されました。

参加者は全員が時間内に立派な作品を完成させ、終了後にはそれぞれが自身の玄関飾りを持って記念撮影をしました。

講師の小林勝彦さんはじめご協力いただいた町内会、育成会、公民館役員の皆様には厚く御礼を申し上げます。

紙資源物の出し方に「工夫」今月の収集日は1月22日です